

国見町埋蔵文化財速報 2003.03



多比良地区圃場整備関係

十園遺跡の発掘調査



遺跡上空から雲仙岳をのぞむ
(手前が北)

2002年度の調査

長崎県国見町教育委員会

☆☆☆ 発刊に当たって ☆☆☆

○本冊子は国見町多比良所在の十園遺跡に関する簡易な解説を目的としています。
○内容は平成12年度から行っている圃場整備事業に伴う十園遺跡発掘調査の成果です。
○本冊子に関する問い合わせは国見町教育委員会(TEL0957-78-1100)までお願いします。

じゅう ゆう ぞの い せき はつ くつ り ゆう 十園遺跡発掘の理由

☆国見町には百花台遺跡のほかにも、皆さんの周りにたくさんの重要な遺跡があります。今回圃場整備事業の実施に伴い遺跡の一部が失われ、現地に保存できなくなるため、国見町では十園遺跡の発掘を行い、遺跡の内容を記録しました。その結果、およそ2千年前にあたる弥生時代の環濠集落が発見され、当時の多比良地区にどのような人々の集落があったのか、次第に明らかになってきました。

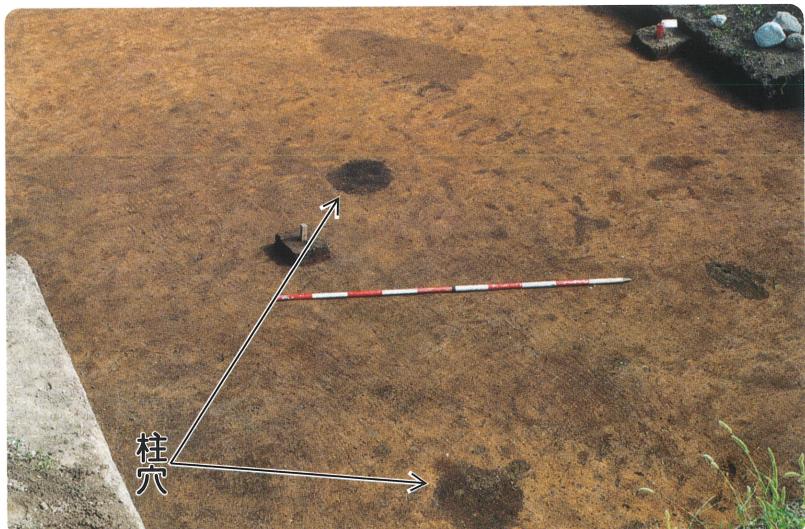
圃場整備：水田を広くして、耕作しやすくするための工事。

キーワードは環濠集落、濠、竪穴住居、製鉄、かなくそです。

発掘調査の基本

☆右の写真は、建物などに使われていた柱穴を発見した直後の写真です。周りの土と色が違っている部分がいくつか見えますよね。それが丸くて、同じ間隔で並んでいれば、まず柱だと考えられます。

☆右の写真は、柱穴を半分に切り取った様子です。柱が差し込まれていた部分と柱周りに入れ込まれた土とに色の違いが見られます。この柱穴は直径約10センチの丸材を使用していたことが考えられます。



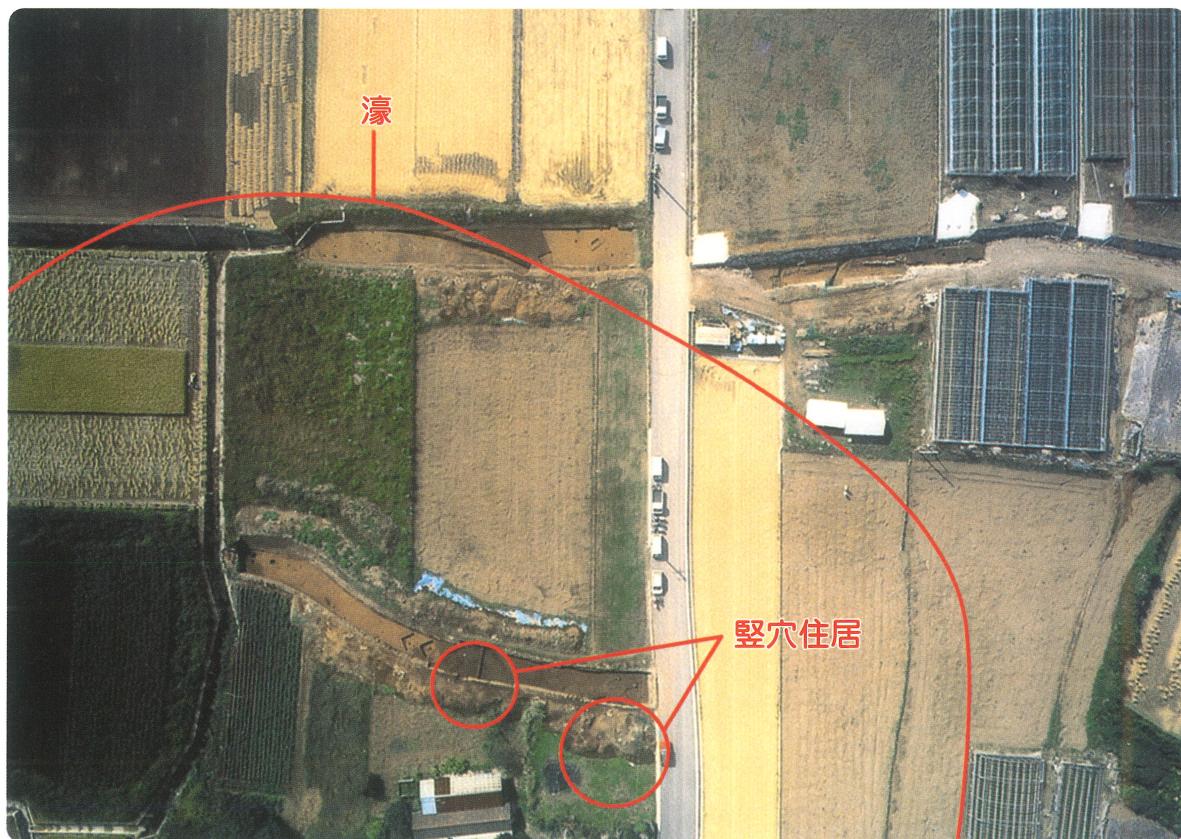
キーワード1

環濠集落

右の写真は、十園遺跡の上空からの写真です。赤いラインは遺跡のおおよその広がりです。面積は約1万5千平方メートルにおよぶ規模の大きな遺跡です。およそ2千年前の弥生時代の環濠集落が遺跡の北側半分（手前）に見つかりました。



下の写真が、環濠集落の上空写真です。大きな赤い円が環濠集落のおおよその範囲です。環濠集落の大きさは約6千平方メートルの広さがあり、小学校のグラウンドほどある敷地の周りに濠が掘られています。その内側にある小さな丸い円は、当時の一般的な住まいと考えられている竪穴住居です。



キーワード2

濠をもつ集落＝環濠集落

☆下の2枚の写真は、集落のまわりに掘られた濠の様子です。濠は防御や戦争などの目的で集落のまわりに掘られるものです。しかし、戦争が終わり濠が利用されなくなったら、濠は必要なくなるために、使えなくなったりいろいろな生活の道具（不用品・ゴミ）を濠の中に捨てているようです。そのため、濠から出土した土器は完全な形に復元できるものはなかなか見つかりませんでした。土器だけでなく、戦争で使用したと思われる鉄の矢じりも出土しました。



濠から出土した土器の1つ
完全な形に復元できない



鉄の矢じりの出土状態



出土した矢じり
(全長7cm)



☆右の写真は、濠に投げ込まれた土器や石の様子です。土器の上に石が、石の上に土器がのっています。足の踏み場もないほどの大量の土器が出土しました。土よりも土器の量が多いほどです。



☆左の写真は、上の濠の断面です。下に行くほどせまくなるために「V」字濠と呼ばれます。この濠では、右上の写真のように多くの土器や石が出土しました。残っている部分で深さは1メートル50センチです。

☆右の写真も濠の断面です。こちらの方が、上の濠よりも狭く深く掘られています。濠の底の幅はわずか20センチ、深さは約1メートル50センチです。こちらの濠からは土器の出土は少なくて、小さな破片ばかりが出土しています。



キーワード3

竪穴住居跡

☆**弥生時代の一般的な住まいとして利用された竪穴住居跡2棟が見つかりました。**右の住居跡は上から見るとほぼ丸い形をしていて、地面を掘りくぼめてその内側に柱を立て、土壁を利用し屋根をかぶせる簡単な構造の建物です。



特に国見町では直徑が10メートルを超える巨大な竪穴住居跡が多く発見されています。



十園遺跡の住居跡 直径 11メートル



国見町東里の佃遺跡の住居跡 直径15メートル

☆右の写真も、弥生時代（2千年前）の竪穴住居跡です。一辺が6メートルほどの正方形の間取りです。大量の土器片が出でています。



☆左の写真は、竪穴住居跡から出土した土器です。赤く塗られた土器が大量に出土しています。器に色が塗られることは珍しく、赤い色になんらかの特別な意味があったのでしょうか？

☆右の写真は、およそ五百年前の古墳時代の竪穴住居跡です。一辺が4メートルほどの正方形の間取りです。焼け落ちた屋根や柱が黒い炭となって残っていました。



キーワード4

製鉄・かなくそ

☆今回の十園遺跡調査で特筆すべきは、弥生時代に製鉄を行っていたことです。

それは濠から弥生土器とともに大量のかなくそが出土したことによります。

鉄の利用は日本では弥生時代からといわれていますが、これまで弥生時代の製鉄に関する考古学的な発見はあまり知られていません。鉄剣・鉄矛・鉄の矢じりなどの製品は、よくお墓などの副葬品として発見されています。しかし、製鉄に関する発見が少ないために、弥生時代に日本国内で製鉄は行われていなかったという意見もあるようです。

今回、十園遺跡で環濠集落の濠の中から大量の土器とともに多くのかなくそが発見されたことは、学問的にも大きな成果となりそうです。



かなくそ：鉄を作るときに出来るカス（鉄滓）



かなくそが出土した濠から鉄のやじりも出土しました。矢印部分

いせきほぞん 遺跡の保存

☆ 直径11メートルを超える大型の竪穴住居跡を埋め戻すのは大変！機械の助けをかりて、砂を近くまで運んで、丁寧に柱穴に砂を入れていきます。



こうじけいかくへんごう
☆工事計画の変更などによっても遺跡の破壊が免れない部分を中心に行っています。そのため遺跡の大部分は盛土などの保存工事によってわれわれの子孫のために残されるようにしています。

おとなにんじゅうき
大人4人重機(ユンボ)1台
すなやくりっぽう
砂約20立方メートル
はんにちさぎょう
半日かけての作業でした。

☆重機も鉄のスコップもまだ無い時代に、こんなに大きな深い穴を掘るのは大変だったでしょうね！



い　せき　けん　がく 遺跡の見学 説明会

ねん　がつ　か　ご　ざ
2002年11月3日午後より

きょういくちょう
教育長のあいさつ▶



やよいじだい　す
弥生時代の住まい
ひろ
です。広さはおよそ
35坪。(115.5m²)
なんにん　ひと　す
何人の人が住んでいたんでしょうか？

じゅうぞの　い　せき　はっくつちょう　さ　はっけん
十園遺跡の発掘調査で発見された
い　ぶつ　ほり　たてあなじゅうきょあと　げん
遺物と濠・竪穴住居跡についての現
ち　せつめいかい　おこな　あめ　なか　みな
地説明会を行いました。雨の中、皆さん
ねっしん　やよいじだい　せんねんまえ　ようす
熱心に弥生時代（2千年前）の様子
しつもん　はっくつちょう　さ　せい
について質問したり、発掘調査の成
か　みみ　かたむ
果についてじーっと耳を傾けていました。

ほり　しゅうらく　まわ　ほ
この濠が集落の周りにぐるりと掘られ
ひとびと　せいかつ　まも
て、人々の生活を守っていました。



いせきけんがくかい 遺跡の見学会

2002年11月6日、十園遺跡の発掘現場に小学生が見学にきました。多比良小学校の高学年の皆さんで、熱心に2千年前の弥生時代の様子をメモしていました。



濠の中に入ったり、出土した土器を実際に自分の手で触ってみたり、遺跡の現場での貴重な体験をしました。この体験を通じて郷土を大切にする子供に育ってほしいものです。



※「がねトン」ロゴマークについては、国見町商工会より掲載許可を頂いております。

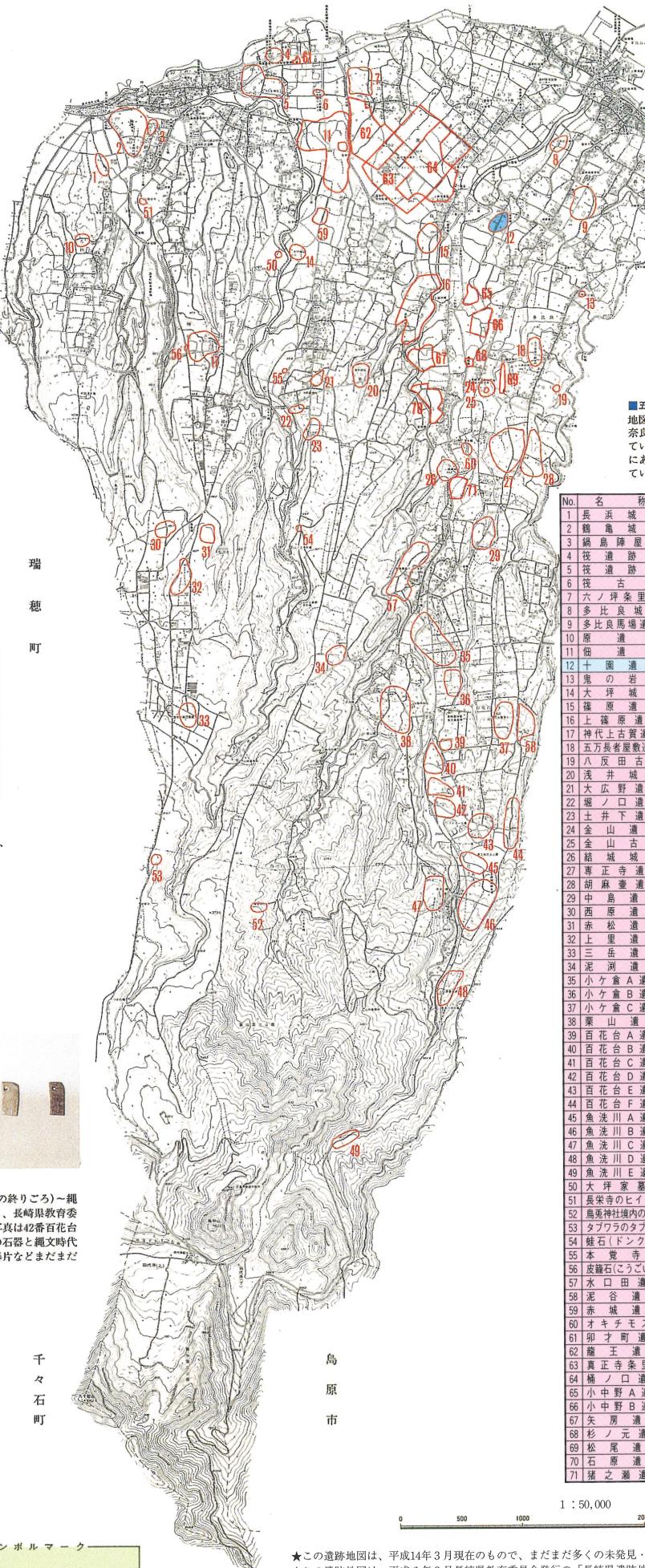
国見町遺跡地図

有明海



■神代鍋島家長屋門と石垣

地図中3番は、佐賀藩神代領々主鍋島氏の陣屋跡で、鍋龜城二の丸の東側斜面に接して建てられています。写真の長屋門は元禄時代(1688~1704)に建立されたと言われ、門前には高さ2m程の切石積みの築石形の堀が2列になって約30mほど連なっています。平成5年2月10日に町の有形文化財として指定されています。



■鬼の岩屋

地図中13番の高下古墳は通称「鬼の岩屋」と呼ばれています。封土は削り取られてしまって単室横穴式石室の大きな岩が露出しており、石室内面には塗朱のあとが残っています。この古墳は昭和33年に当時九州大学・小田富士郎教授(現福岡大教授・下関市立考古博物館長)により発掘調査が行われ、埴輪や瓦など多くの出土品とともに、その結果出土されたものでは6世紀中ごろで、その後6世紀末まで全国にわたる追跡が行われたと考えられます。出土した遺物は国見町考古学資料館に保管、展示しております。なお、昭和34年1月13日史跡として県の指定を受けています。



■五万長者遺跡の瓦

地図中18番の五万長者屋敷跡から発見された軒丸瓦と軒平瓦で、奈良時代~平安時代ごろの寺院跡または政府跡のものだと言われています。瓦の大きさや形から、かなり大きな建造物がこの辺りにあったことは間違いないようですが、詳しい内容はまだ判明していません。

No.	名 称	所 在 地	種 別	立 地	時 代	備 考
1	長 浜 城 路	田名路	城 路	丘陵	中世	
2	鶴 亀 城 路	神代名字城上	城 路	丘陵	中世	
3	鍋 島 墓 墓	神代名字城上	墓	路	近世	町指定有形文化財
4	筏 渚 路 B	東里名字筏	遺物包含地	平野	編文~中世	
5	筏 渚 路 A	東里名字筏	集落	路	平野	編文~中世
6	筏 古 墓	東里名字筏	古	境	古地	古墳
7	六 ノ 墳 条 里 路	今出名字六ノ塚	条里 道	路	平野	奈良
8	多 比 良 城 路	轟木名字城の元	城 路	丘陵	平安~中世	
9	多 比 良 馬 場 遺 路	馬場名字中町	遺物包含地	平野	弥生	
10	原 原 遺 路	片田名字原	遺物包含地	丘陵	中世	
11	佃 原 遺 路	佃原名字原	遺物包含地	平野	弥生	
12	十 園 遺 路	馬場名字十園	遺物包含地	台地	弥生~中世	
13	鬼 の 岩 墓	字岩名丁ノ351	古	境	古地	県指定史跡
14	大 坪 城 路	山ノ上名字中垣	城	路	平野	中世
15	篠 原 遺 路	篠原名字中篠原	遺物包含地	平野	弥生~古墳	
16	上 筏 原 遺 路	篠原名字上篠原	遺物包含地	平野	弥生~古墳	
17	神 上 古 賀 遺 路	上古賀名字御籠石	遺物包含地	丘陵	中世	
18	五 万 長 者 遺 路	高下名字平野山	遺物包含地	台地	奈良	
19	八 反 田 古 墓	高下名字反田	古	境	丘陵	古墳
20	浅 井 井 遺 路	篠高名字深井ノ久保	遺物包含地	城	路	中世
21	大 広 野 遺 路	山ノ上名字大広野	遺物包含地	丘陵	編文	
22	堤 ノ 口 遺 路	山ノ上名字堤ノ口	遺物包含地	丘陵	中世	
23	土 井 下 遺 路	山ノ上名字土井下	遺物包含地	丘陵	編文	
24	金 山 遺 路	金山名字鬼塚	古	境	台地	古墳
25	金 山 古 遺 路	金山名字鬼塚	古	境	台地	古墳
26	結 城 城 路	金田名字城本	城	路	中世	
27	專 正 寺 遺 路	高下名字正寺	遺物包含地	台地	編文~弥生	
28	胡 壺 壺 遺 路	高下名字胡麻壼	遺物包含地	丘陵	編文~弥生	
29	中 島 遺 路	金山名字中島	遺物包含地	丘陵	先土器~繩文	
30	西 原 遺 路	片田名字西原	遺物包含地	丘陵	中世	
31	赤 松 遺 路	上古賀名字赤松	遺物包含地	丘陵	中世	
32	上 里 遺 路	上古賀名字赤松	遺物包含地	丘陵	中世	
33	三 五 遺 路	上古賀名字三五	遺物包含地	丘陵	先土器~繩文	
34	泥 潟 遺 路	八斗木名字泥瀦	遺物包含地	台地	先土器	
35	小 ヶ 倉 A 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	丘陵	先土器~繩文	
36	小 ヶ 倉 B 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	丘陵	先土器~繩文	
37	小 ヶ 倉 C 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
38	栗 山 遺 路	八斗木名字栗山	遺物包含地	台地	編文	
39	百 花 台 A 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
40	百 花 台 B 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
41	百 花 台 C 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
42	白 花 台 D 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
43	百 花 台 F 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
44	百 花 台 F 遺 路	金山名字堀開	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
45	魚 流 川 A 遺 路	金山名字橋道上	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
46	魚 流 川 B 遺 路	金山名字橋道上	遺物包含地	台地	先土器~繩文	
47	魚 流 川 C 遺 路	八斗木名字原	遺物包含地	丘陵	先土器	
48	魚 流 川 D 遺 路	金山名字橋道上	遺物包含地	丘陵	先土器~繩文	
49	魚 流 川 E 遺 路	笠置75林班3~31	遺物包含地	丘陵	先土器~繩文	
50	大 拼 家 麟 所	神代内1684	墓 所			町指定史跡
51	長榮寺のヒイラギ	下古賀内548				県指定天然記念物
52	鳥居神社境内のスギ	土黒唐659				町指定天然記念物
53	タブリのタブリキ	神代内783				町指定天然記念物
54	蛙 石 (ドングク石)	神代辛1409				町指定有形文化財
55	本 党 寺 遺 路	神代辛895				南北朝
56	皮 石 (こうごい)	神代内167				町指定史跡
57	水 口 田 遺 路	下八斗木	包 含 地	丘陵	編文	H.6新規発見遺跡
58	泥 谷 遺 路	金字名字泥谷	包 含 地	丘陵	編文	H.6新規発見遺跡
59	赤 城 遺 路	神代ノ押	集落城館跡	台地	奈良	H.6新規発見遺跡
60	オ キ テ モ ズ ク	土黒川清水渡	遺物包含地	丘陵	先土器~平安	国指定天然記念物
61	卯 木 町 遺 路	神代名字東里	遺物包含地	平野	先土器~萬文	
62	龍 王 遺 路	土黒字龍王	遺物包含地	平野	弥生~平安	
63	真 正 寺 条 里 遺 路	土黒字真正寺	条里遺跡	平野	奈良~平安	
64	桶 ノ 口 遺 路	土黒字桶ノ口	遺物包含地	平野	弥生~平安	
65	小 中 野 A 遺 路	多良良字小中野	遺物包含地	丘陵	弥生~平安	
66	小 中 野 B 遺 路	多良良字小中野	遺物包含地	丘陵	弥生~平安	
67	矢 房 遺 路	宮山名字矢房	遺物包含地	丘陵	先土器~中世	
68	杉 ノ 元 遺 路	多良良字杉之元	遺物包含地	丘陵	編文~中世	
69	松 尾 遺 路	金山字松尾	遺物包含地	丘陵	先土器~平安	
70	石 原 遺 路	宮山名字石原	遺物包含地	丘陵	先土器~平安	
71	猪 之 潟 遺 路	金山字猪ノ瀬	遺物包含地	丘陵	編文~中世	

1 : 50,000

0 500 1000 2000 3000m

★この遺跡地図は、平成14年3月現在のもので、まだまだ多くの未発見・未周知の遺跡が存在しています。

★この遺跡地図は、平成6年3月長崎県教育委員会発行の「長崎県遺跡地図」を基礎として、その後発見された遺跡および町内の文化財等を付け加え、国見町教育委員会が作成したものです。

★遺跡の範囲は図上に赤で示しましたが、およそその範囲を示すもので、線上やその周辺も遺跡と考えられる場合もあります。また、図上に赤で示してない地域でも、外的な判断や伝説・口伝等によってその地域において文化財を包蔵する土地として広く認められている土地についても遺跡として取り扱われます。

★この遺跡地図について詳しいことは、国見町教育委員会(TEL 0957-78-1100)までお問い合わせください。

千々
石
町

文化財愛護シンボルマーク



このシンボルマークは、ひろげた両手のひらのパターンによって、日本建築の重要な要素である斗拱(組み物)のイメージを表わし、これを三つ重ねることにより、文化財という民族の遺産過去、現在、未来にわたり永遠に伝承していくという愛護精神を象徴したものです。